

# 平成 28 年 宮城県内の火災概況（速報値※）

※総務省消防庁へ報告された火災情報を集計、確定値は例年 8 月頃に公表されます。

（平成 28 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで）

## 1 出火件数

平成 28 年の宮城県内の総出火件数は 734 件で、前年（779 件）に比べ 45 件（5.78%）減少し、出火率（人口 1 万人当たりの出火件数）は 3.17 で、前年（3.36）に比べ 0.19 ポイント減少しました。1 日当たりの出火件数は、平均で 2.01 件になります。

月別に見ると、3 月の出火件数が 124 件（全体比 16.89%）で最も多くなっています。また、四季別では昨年に引き続き冬期から春季にかけて火災が多く発生しています。

表 1 月別出火件数

区分	月別出火件数												総出火件数	出火率	1日当たり出火件数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
平成28年	63	72	124	77	52	54	38	62	34	47	44	67	734	3.17	2.01
平成27年	84	59	92	72	100	58	58	50	44	67	45	50	779	3.36	2.13
増減件数	△ 21	13	32	5	△ 48	△ 4	△ 20	12	△ 10	△ 20	△ 1	17	△ 45	—	—

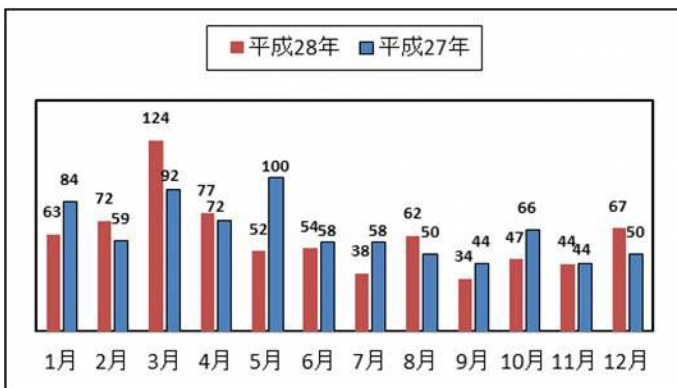
（※出火率：人口 1 万人当たりの出火件数）

表 2 四季別出火件数

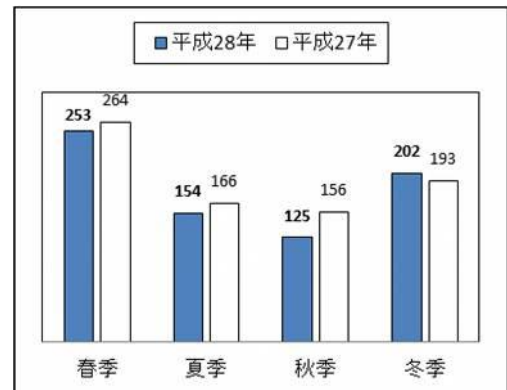
区分		四季別出火件数				合計
		春季	夏季	秋季	冬季	
平成28年	件数	253	154	125	202	734
	全体比（%）	34.5	21.0	17.0	27.5	100
平成27年	件数	264	166	156	193	779
	全体比（%）	33.9	21.3	20.0	24.8	100

春季3～5月，夏季6～8月，秋季9～11月，冬季12～2月

図－1 月別出火件数（平成 28 年・平成 27 年）



図－2 四季別出火件数



## 2 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 387 件（52.7%）と最も多く、次に車両火災 102 件（13.9%）、林野火災 28 件（3.8%）と続いています。

表 3 火災種別出火件数

区分		火災種別出火件数						合計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
平成28年	件数	387	28	102	3	0	214	734
	全体比（%）	52.7	3.8	13.9	0.4	0.0	29.2	100
平成27年	件数	410	27	82	2	0	258	779
	全体比（%）	52.6	3.5	10.5	0.3	0.0	33.1	100
増減件数		△ 23	1	20	1	0	△ 44	△ 45

## 3 出火の原因

出火の原因の第 1 位は「たばこ」の 65 件、以下「放火」の 61 件、「放火の疑い」の 50 件、「こんろ」の 45 件の順となっています。

表 4 出火原因別一覧表

順位	出火原因	件数	火災種別内訳					
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1	たばこ	65	27	1	9	0	0	28
2	放火	61	24	0	8	0	0	29
3	放火の疑い	50	24	2	3	0	0	21
4	こんろ	45	43	0	1	0	0	1
5	ストーブ	39	38	0	1	0	0	0
6	電灯・電話等の配線	37	24	0	0	1	0	12
7	火入れ	27	4	8	0	0	0	15
8	排気管	25	2	0	19	0	0	4
9	たき火	23	1	7	1	0	0	14
10	マッチ・ライター	18	7	1	4	0	0	6

## 4 死傷者

火災による死者は 30 人（うち放火自死者 12 人）で、前年の 28 人に比べ 2 人増加しました。また、負傷者は 118 人で、前年の 105 人に比べ 13 人増加しました。

## 5 火災損害額

火災による損害額は 2,363,454 千円で、前年の 1,079,466 千円に比べ 1,283,988 千円増加しました。